2026.07.10　毎月10日発行

COM vol.454

OKAYAMA DOYU NEWS PAPER!

CONTENTS

●憲章・条例活用推進シンポジウム●第46回中同協役員研修会●広報委員会ガイダンス●女性経営者全国交流会●5-6月の各支部の活動紹介●26年度役員一覧●新会員紹介●理事会報告●魅力発信！ NewFace

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

憲章・条例活用推進シンポジウム（オンライン）

中小企業振興基本条例の具体化と、地域内経済循環モデルの構築に向けて



六月十日、中小企業魅力発信月間キックオフ行事「憲章・条例活用推進シンポジウム」が東京都内会場およびオンラインで開催され、全国の自治体・経済団体・労働者団体等が参加し、地域経済の活性化に向けた取り組みと課題について意見交換が行われました。

第一部では各政党から本行事に向けたメッセージが述べられ、続く第二部では基調講演および事例報告によるシンポジウムが実施されました。

基調講演では、慶應義塾大学経済学部・植田浩史名誉教授から、中小企業振興基本条例の具体化と活用の重要性について話がありました。条例制定の広がりとともに二〇二一年以降の鈍化傾向が示される中、条例そのものの制定を目的とするのではなく、中小企業の経営力向上や自助努力を地域全体で支える仕組みとして捉える必要性が指摘されました。また、地域課題と中小企業課題をいかに結びつけるか、円卓会議の見える化、地域の現状把握の重要性が強調されました。

その後、福岡同友会の事例報告として、田川市で生活者と事業者をつなぐ「KBITTE（キビッテ）」を中心に、学び・実践・次世代育成が連動する地域内経済循環の取り組みが紹介されました。この仕組みは理念・ビジョンの明確化を条件としたマッチング機能を持ち、同友会と商工会議所が連携する学びの場「たがわビジネスアカデミア」、社会課題解決型ビジネスを競う「たがわゴールドラッシュ」、高校生による「たがわプランナーズ」へと展開されています。これらの取り組みには福岡同友会会員も参画し、行政計画にも位置づけられるなど、地域政策と実践が一体となった事例として報告されました。

続いて京都同友会からは、行政・金融機関・学校との連携を通じた中小企業の認知向上と課題解決の取り組みが紹介されました。小学生を対象とした「こどもシゴト博」を大学構内で開催することで、こども・大学・学生・地域企業をつなぐ機会を創出し、大学側・企業側双方にとって利益のある関係を構築しています。

今回の事例報告では、中小企業振興基本条例の具体化をいかに地域実践へ結びつけるかが共通のテーマとして示され、学びから実践、次世代育成へとつながる仕組みづくりや、地域内経済循環を意識した連携のあり方が共有されました。

（S）

中小企業魅力発信月間 中小企業の日

中小企業基本法の公布・施行日である7月20日を「中小企業の日」、7月の1カ月間を「中小企業魅力発信月間」とします。



＜内容＞

関係省庁（中小企業庁、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省）や、関係団体（日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会、中小企業家同友会全国協議会）の協力の下、地域の中小企業・小規模事業者に関わるイベント（シンポジウム、セミナー、商工祭等）が開催されます。

中小企業庁ホームページから関連イベント一覧をご覧ください。

中小企業庁ホームページ２次元コード▶

第46回中同協役員研修会

5月14日・15日の両日、奈良県において第46回中同協役員研修会が開催され、各地同友会から約100人（岡山から2人）が参加しました。研修では、同友会の成り立ちや理念について学ぶとともに、役員としての役割や責任について理解を深めました。中同協役員らによる講義の後には、参加者同士で活発な意見交流が行われ、学びを共有しました。参加者によるリポートを掲載いたします。



初参加者感想

㈱クリエイト岡山

代表取締役 **梅田 光悦**（岡山南支部）

今回の中同協役員研修会では、同友会の成り立ちや歴史、役員としての役割、そして今後の実践について多くの学びをいただきました。諸先輩方が先見性と普遍性をもって紡いでこられた歩みに触れ、「なぜ中小企業家同友会なのか」があらためて腑に落ちる時間となりました。

特に講義を通じて、自社でまだ実践できていないことや、自分自身の姿勢・あり方について深く反省する機会となり、現在地を見つめ直すことができました。これまで同友会活動の目的が少しぼやけていた部分もありましたが、今後自社において、また役員として何を大切にし、どう実践していくべきかが見えてきたように感じています。学んだことをその場限りにせず自社に落とし込み、岡山同友会にも共有していきます。そして来年の岡山全研の成功に向け、与えられた役割を全うし、特に例会づくりに力を尽くしてまいります。

<スケジュール>

第1日目(5/14)	
13：00	開会 開講あいさつ
	【第1講】 同友会の歴史と理念～運動の到達点、今後の課題と展望 講師：国吉 昌晴氏（中同協顧問）
13：10	開講 講義（80 分）
14：30	グループ討論
15：30	グループ発表、補足報告
	【第2講】 同友会役員の役割 ～企業づくり、地域づくり、同友会づくりの観点から 講師：中山 英敬氏 （中同協幹事長・㈱ヒューマンライフ 代表取締役）
16：00	開講 講義（80 分）
17：20	グループ討論
18：20	グループ発表、補足報告
18：40	第1日目終了
第2日目(5/15)	
	【第3講】 同友会理念の実践～その体現者をめざして 講師：広浜 泰久氏（中同協会長・㈱ヒロハマ 取締役会長）
9：00	講義（80 分）
10：20	グループ討論
11：20	休憩
11：30	グループ発表、補足報告
11：50	まとめのあいさつ
12：00	閉講

～広報委員会二〇二六年度ガイダンスを開催～

「伝える」から「信頼を育てる」へ

六月三日、広報委員会では二〇二六年度ガイダンスをオンラインで開催し、十五人が参加しました。昨年度からスタートした本ガイダンスは今回で二回目となり、広報委員会の活動紹介だけでなく、「広報とは何か」をあらためて考える学びの場として実施しました。

ガイダンスでは、「広報とは何か」をテーマに私、山下が報告しました。広報は単なる宣伝や情報発信ではなく、「組織と人との信頼の橋を架けること」と定義され、その要素として「伝える」「対話する」「受け止める」「変わる」「信頼を育てる」の五つを挙げました。



例会で問題提起を行い、グループ討論で多様な意見を交わし、自社へ持ち帰って実践する――。同友会活動そのものが、この広報の循環を実践する場であり、広報を学ぶことは、自社経営を深めるとともに、同友会運動の発展にもつながります。広報委員会は、その実践の場として、会報紙『COM』の編集を中心に活動を続けています。

今年度は「届く、活かされる広報・情報化促進活動へ。連携・つながり、入口づくりを強化する」を方針に掲げています。具体的には、『COM』の活用事例の共有や、仲間づくり委員会との連携強化、全研岡山のPR動画配信に取り組みます。これまでの「作る広報」から、「どう届けるか」「どう活かされるか」を重視した活動へと進化させていきます。また、広報委員会の魅力として、企業訪問による取材活動や記事作成、動画制作、他県同友会との交流などが紹介されました。取材を通じて普段訪問できない企業の経営者から直接話を聞けることは、自社の課題解決のヒントとなり、表現力やヒアリング力の向上にもつながります。

後半のグループ討論では、「自社の経営課題と広報の活用」をテーマに意見交換を行いました。人材確保、自社の認知向上、情報発信不足など共通する課題が挙げられる一方で、「広報は一方的な発信ではなく、相手に伝わり、浸透するための双方向の活動である」「WebやSNSなど手段を探す前に、自社の理念やあり方を整理することが大切」といった気づきが共有されました。

広報は、単に情報を届ける技術ではありません。相手の声を受け止め、自らも変わりながら信頼を積み重ねていく経営実践そのものです。広報委員会では今後も、「伝える・対話する・受け止める・変わる・信頼を育てる」という視点を大切にしながら、会員同士が学び合える場づくりを進めていきます。広報委員会への参加は毎回必須ではなく、自分のペースで関わることができます。ぜひ一緒に、「伝える力」を磨きながら、同友会運動と自社経営の発展につなげていきましょう。

執筆＝山下 秀男（広報委員）

第二十九回女性経営者全国交流会in兵庫

変革と共創でつなごう未来へ



第二十九回女性経営者全国交流会が、六月四日・五日の二日間、神戸市で開催されました。全国から約千七十人（岡山から二十二人）が参加し、「変革と共創でつなごう未来へ　～Go beyond!つながりが未来をつくる～」をテーマに交流と学びを深めました。

一日目は九分科会に分かれ、「経営者の自己変革」「経営指針の確立」「人を生かす経営の実践」などをテーマに報告とグループ討論が行われました。岡山同友会が設営した第二分科会では、㈱Orbの河井七美社長が「事業領域の見直し」をテーマに報告し、廃業の危機に直面しながらも理念やビジョンを基軸に事業内容を見直し、事業転換に取り組んだ変革の実践を紹介しました。

二日目は各分科会の座長による分科会報告が行われ、前日の学びが全体で共有されました。続く記念講演では、「大切にしてきたことはただひとつ、人とのつながり」と題して、㈱鍵庄の入江恵子会長がこれまでのご自身の経営実践を報告しました。入江氏が海苔加工販売業を営む中で大切にしてきた人とのつながりや、同友会での学びが語られたほか、事業承継の話では社長を継がれたご子息も登壇し、承継の想いや親子で新たな経営理念の共創に取り組んだ経緯についても紹介されました。

閉会にあたり、中同協女性部連絡会代表の橋本久美子氏が挨拶に立ち、「私たちが経験の量を積み、自分が誰かのロールモデルになっていこう」と呼びかけ、交流会は閉会しました。

執筆＝㈲藤井鉄工所　藤井 幸代（女性部長）

女全交参加者感想より抜粋

「分科会を通して学んだこと、自社で実践すること」

●事業を、存続させるためには、社員の可能性を引き出す責任もあるということ、自分の理想の枠にはめようとしていることに、気がつきました。

●徹底して「やりたいことを叶える」と貫く姿勢がブレないことは素晴らしいと思います。価格決定権を持ち、自信を持って決断する過程から、提供するサービスへの想いがさらに見えました。

●経営者として覚悟を決めて、愚直に継続的に理念浸透と、問題解決を進めて行きたい。

●指針の共有を続けて、会社が変わるまで十五年はかかるということ。
あきらめずに社員共育を続ける。リーダー育成に力を入れていく。

●社内におけるビジョンの共有。そのための評価制度の見直し。

女全交分科会報告者感想

報告は、自分をさらけ出す時間だった

㈱Orb　代表取締役　河井 七美（倉敷支部）



当日までに、兵庫同友会の分科会担当者と岡山同友会女性部有志で、計３回のプレ報告をしていただきました。最初は言いたいことがまとまらない報告をしていましたが、兵庫では報告の進め方がしっかりと浸透しており、それに沿って具体的なアドバイスをいただき、分科会に来てくれる人に私が何を伝えたいのか、何を持ち帰ってもらいたいのかが明確になっていきました。

岡山の皆さんにはさらに2回機会を設けてもらい、当時の心の内や今の気持ちまで引き出してもらいました。思い出すのも辛く封印していた記憶もこじ開けられて語るうちに、ふがいなかった自分が嫌で蓋をしていたのだと気づきました。前を向いて走ってきたつもりが、実は後ろを振り向きたくなかっただけなのかもしれません。報告者になるということは、自分の良いところも悪いところも見つめ直し、さらけ出すこと。慌ただしい経営の日々の中で、これほど自分と会社を見つめ直す機会をいただけたことに、心から感謝しています。

もっとこだわって印刷したい
もっと魅力を伝えたい
効果的な販促がわからない
もっと営業力を増やしたい
そのお悩み 私たちが解決します!
お悩みに合わせた
最適な解決策（ソリューション）をご提案します！
詳しくは巻末のチラシをご覧ください！！

サンコー印刷株式会社
〒719-1137 岡山県総社市駅南一丁目１番地５
TEL 0866-93-2121
FAX 0866-93-9601　E-mail eigyo@sankopr.co.jp
サンコー印刷 ホームページ お問い合わせフォーム

5ー6月の各支部の活動紹介

倉敷支部　5月着流し地区会報告

倉敷支部着流し地区会は、「肩肘張らず、ラフな服装でどうぞ!」というコンセプトで、2019年から定期的に開催しています。今回、全5地区で開催しましたので、その内容と様子を報告します。

●井原・笠岡地区（5月14日）

25年8月例会で報告をした㈲さくらコーポレーションの江本純子氏（井原・笠岡地区）から、例会報告から9カ月が経過した現在の状況についてミニ報告がありました。初報告当時に語られた、「経営者としての自己変革」や「社員との関係性の改善」などに取り組んできた江本氏と会社の変化をお聞きしました。同友会を活用して自社を変えていく実践の成果から、経営者の姿勢を見つめ直す機会となりました。

●児島地区（5月19日）

児島駅近くの「中国料理 又一別館」でランチミーティングを開催。児島エリアの会員が集まり、近況報告や各社の課題相談などを行いました。定期的にランチミーティングを開催していますが、経営の話題は尽きません。未来を広げる新規事業展開の話題や、今後の地区活動の継続と展開についても話が広がり、今後の展望が楽しみな地区会となりました。

●総社・真備地区（5月20日）

総社市文化センターで開催し、岡山同友会と30年余にわたり深いかかわりのあった教育学者・大田堯氏の映画『かすかな光へ』の鑑賞会とグループ討議を実施しました。「学ぶことの本質とは」「人間尊重の精神とはどのようなものか」などについて学び、深く考える機会となりました。地区会員だけでなく、他地区・他支部からも参加があって盛り上がり、この鑑賞会を受けて、6月27日には水島・玉島地区でも鑑賞会を行なうことになりました。

●水島・玉島地区（5月20日）

㈲松浦治療において、「ちょっと聞いてよ! 今困ってるんです! 自社課題の相談交流会」と題して地区会を開催しました。普段はなかなか例会で顔を合わせる機会の少ない会員や新会員も集まり、お互いの課題相談などで盛り上がりました。会員同士だからこそ話せる率直な悩み相談から、10年ビジョンや企業連携など、企業の未来づくりのヒントが多く得られる会となりました。また、昨年度の地区活動の振り返りも行い、今後の地区の活性化と課題解決についても話し合いました。

●倉敷中央・早島地区（5月29日）

倉敷駅前の「Cafe&Bar KAG」にてランチミーティングを開催しました。1年の振り返りと今後の経営実践について交流を深めました。より参加しやすく会員同士の交流を深められる場にするだけでなく、入会を検討している経営者もお招きし、より活気ある地区会の実現に向けた取り組みについても意見交換が行われました。(o)

岡山南支部

支部の会員企業を巡る、企業見学ツアー　5月28日



岡山南支部では、5月の特別行事として企業見学ツアーを実施し、他支部会員を含む13人が参加しました。参加者は同友会事務局に集合し、マイクロバスで最初の訪問先である（一社）フィール（石戸紀代美代表理事）が運営するパン屋へ向かいました。到着後はそれぞれ思い思いにパンを購入し、次の訪問先へ出発しました。移動中には会員企業の前を通りながら、「あそこも会員企業、ここも会員企業」と紹介があり、地域に広がる会員企業の存在をあらためて実感する機会となりました。

2軒目の訪問先は㈱小林事務機です。小林功昇社長から、キャンピングオフィス展示場を兼ねた社内施設について説明を受けました。同社は㈱スノーピークビジネスソリューションズの正規代理店として、最適なオフィス環境づくりに関する相談にも対応しています。

最後の訪問先である㈱カートップでは、駐車場のウェルカムボードに来訪者一人ひとりの名前が記され、社員の皆さんが温かく出迎えてくれました。岡﨑有功副社長から会社の歴史や特徴について説明を受けた後、高さ約33メートルを誇るタワーを案内していただきました。タワー内には約30台の車両が保管されており、某漫画で有名になったスバル・インプレッサをはじめとする希少車種を見学。参加者は興味深く見入っていました。

また、移動中には㈱ジョアの神馬孝司会長からの宿題として、AIの政治的利用への懸念を示したローマ教皇の回勅を取り上げた新聞記事が配布されました。これをきっかけに、自社におけるAI活用の現状や今後の可能性について、参加者一人ひとりが意見を交わす場面もあり、学びの多い交流の機会となりました。(s)

岡山北支部

歴代支部長による パネルディスカッションを実施

6月18日には岡山市内で第15回岡山北支部総会を開催し、32人が参加しました。前年度総括と今年度方針を確認した後、支部役員議案が承認され、新支部長に庄真理子氏（庄屋電装㈱）が選出されました。

第2部では歴代支部長によるパネルディスカッションを実施。林明美氏（元・岡山支部長）、杉野昌司氏、片岡健夫氏、松本直也氏、奥田建志氏（四人とも元・岡山北支部長）が登壇し、「新しい扉を開く～参加から参画へ、経営者としての成長を求めて」をテーマに、それぞれの経営経験や実践事例を交えながら意見交換が行われました。

討論では、人材育成や事業承継、地域とのつながりなど幅広い話題が取り上げられました。パネリストからは、「自分ごととして活動することで、リーダーとしての成長につながった」「多忙な中であえて役を引き受けた経験が、人を信頼して任せる組織づくりのきっかけとなった」といった実践的な経験が紹介され、企業規模や業種は異なっても、多くの共通する課題や学びがあることが共有されました。また、経営環境の変化に対応するためには、経営者自身が学び続ける姿勢の大切さについても意見が交わされ、参加者にとって今後の経営のヒントとなる時間となりました。(O)



5ー6月の各支部の活動紹介

作州支部　「産・学・官意見交換&交流会」キックオフ会議　5月13日

津山産業支援センターで、8月開催予定の「産・学・官意見交換&交流会」のキックオフ会議を行いました。2023年からスタートした交流会も今年で4年目を迎えます。より地域との連携を深め、各組織の問題や課題を吸い上げて地域を盛り上げていくことを目指しています。今回は、学校や行政、地域に関わる人々の意見をより深く反映させるため、企画・準備段階から行政の方にも初めて参画いただくことになりました。

当日は、まず交流会の目的や立ち上げ当時の経緯を確認し、続いて昨年の交流会での連携アイデアから実現した、中高生が地域のことを知るためのラジオ番組『昼ラジ! 地元と未来をつなぐ10分』の事例が、津山産業支援センター沼泰弘事務局長から紹介されました。

その後、交流会への期待や意見、改善について話し合い、企業と行政それぞれの立場から地域の課題が共有されました。企業側からは、地域の企業を知らない若者が多い現状への危機感が示され、「オープンファクトリーなどを通じて、子どもたちにこの地域でもビジネスが成り立つことを伝えていきたい」といった意見が出されました。

行政側からは、津山圏域（1市5町）の出生数が、2015年は約1100人だったものが2022年には年間約800人となり、30%近く激減している深刻な現状や、保護者世代の地元愛が薄く、子供に地元に残ってほしいと願う親が少ないという実態が指摘されました。

最後に、今後の交流会の役割について協議し、それぞれの組織をつなぎ、組織間の壁をなくすプラットフォームとしての働きへの期待や、交流会を通じて生まれた連携の具体化、その成果を共有する場が必要なことが確認されました。また、今後の継続性や将来的な交流会のビジョン構築についても話し合われ、参加者の交流会への期待感と、地元への思い、そして地域の未来を担う責任感が感じられるキックオフ会議となりました。（o）





中高生が地域のことを知るためのラジオ番組「昼ラジ!地元と未来をつなぐ10分」

東備支部

企業見学&ランチ交流会　6月3日



台風の接近により開催が危ぶまれましたが、当日は青空が広がり、やや強い海風が吹く中で企業見学を実施しました。当日は他支部会員を含む10人が㈲服部水産に集合しました。服部英明社長の説明を受けながら、釜揚げしらすの製造工程において異物を除去する機械や、しらすを乾燥させてちりめんに加工する設備などを見学しました。その後、工場近くの海沿いに移動し、自社所有の漁船が碇泊する場所を前に、「どのあたりまで漁に出るのか」「最近の漁獲量はどうか」といった参加者からの質問に対し、服部社長が丁寧に回答しました。

工場見学終了後は、会場から車で約3分の牛窓ヨットハーバーへ移動し、服部社長によるミニ報告を聞きました。報告の中では、近年アミの漁獲量が減少している現状について触れられた一方で、後継者であるご子息が入社し、商品開発に力を入れていることなど、今後の展望についても話がありました。

その後、同社の釜揚げしらすを使ったしらす丼を提供する喫茶店で昼食をとりながら、参加者同士でざっくばらんな意見交換を行い、交流を深めました。（s）

備北支部



5月14日、cafeプラド（会員企業である㈱Solid Loveが経営）にて吉備中央地区会を開催し、6人が参加しました。ベーグルサンドやスムージーに舌鼓を打ちつつ、参加者より一人ずつ近況報告がなされ、交流を深めました。今年度中に地区会を４回実施する予定で、次回は同会場で7月9日に行います。

6月19日、高梁市内で第19回備北支部総会を開催しました。支部会員10人が参集し、前年度総括と今年度方針を確認したのち、新役員体制を承認しました。

今回は支部長の交代があり、3年間務めた上田浩一氏（㈲上田建築工房）から柳分良司氏（㈲やなわけ染色）に支部責任者のバトンが託されました。上田氏は「支部の活性化を十分に成し遂げられなかった」と悔しさを滲ませつつ、「今期は高い目標を掲げているが、困っている経営者は周りにたくさんいるはず。皆さんで協力し合い、新支部長と一緒に達成していこう」と述べました。柳分氏は、「各社の企業づくりの挑戦こそが支部の活性化につながる。人材の流出など地域課題は少なくないが、同友会の仲間と学び合い、お互いの関係性を築き、地域の中で輝く企業になっていこう」と呼びかけ、総会は閉会しました。（O）



二〇二六年度　岡山同友会役員一覧

役職	会員名	会社名	役職
代表理事	門田悦子	(有)田中製作所	代表取締役
副代表理事	山辺啓三	(有)まるみ麹本店	代表取締役
	浅野浩一	(株)サンキョウ－エンビックス	代表取締役
	大西一夫	(株)インターネット倉敷	代表取締役
	松本直也	(株)アルマ経営研究所	代表取締役
理事	上田浩一	(有)上田建築工房	代表取締役
	奥田建志	フナキ運輸(株)	代表取締役
	河井七美	(株)Orb	代表取締役
	木本康大	(株)ファーストディレクションTAKEKICHI	代表取締役
	黒田英利	(有)ヒカリシルク	取締役専務
	里見允二	サトミ紙工(株)	代表取締役
	庄真理子	庄屋電装(株)	代表取締役
	髙橋京恵	(株)FIL DESIGN	代表取締役
	田中章夫	(有)田中電機	代表取締役
	角田裕美子	アサヒ通信システム(株)	代表取締役
	仁戸田昌典	オーニット(株)	代表取締役
	平井啓之	(株)日の丸タクシー	代表取締役
	藤井智晴	NPOエリア・イノベーション	代表取締役
	藤井幸代	山陽レジン工業(株)	代表取締役
	守屋孝一	(有)藤井鉄工所	代表取締役
	柳分良司	(有)やなわけ染色	代表取締役
	山下秀男	(株)イケル	代表取締役
	山本達己	(一社)シネマフィルム	代表取締役
	横田摂矢	(株)ピアノファクトリー	代表取締役
	和佐田歩	(同)ヘアーウォーク	代表取締役
常任相談役	土井章弘	岡山県中小企業家同友会	代表取締役
	梶谷俊介	藤本英臣法律事務所	代表取締役
	松尾正男	あおば税理士法人	代表取締役
	神馬孝司	岡山トヨタ自動車(株)	代表取締役社長
監査	髙橋正志	(公財)操風会岡山旭東病院	代表
	林明美	ダイヤ工業(株)	代表取締役
	藤井孝章	(株)ジョア	代表取締役
	藤田賢治	(株)マスカット薬局	代表取締役
	三村健	(有)ライトアーム	代表取締役会長
顧問	三宅誠一	サンコー印刷(株)	取締役会長
		(株)フジタ地質	代表取締役
		(株)成和設備工業所	代表取締役
		(有)ヒロシゲ文庫	相談役

二〇二六年度各支部役員一覧

各支部総会で選出された役員一覧（敬称略・順不同）

役職	会員名	会社名	役職
岡山北支部			
支部長	庄真理子	庄屋電装(株)	代表取締役
副支部長	髙橋京恵	(株)FIL DESIGN	代表取締役
	藤井智晴	NPOエリア・イノベーション	代表
	大谷裕作	(株)アルマ経営研究所	専務取締役
	長船洋人	(株)小橋工務店	取締役
	金子貴義	峰南工業(株)	代表
	上代沙矢香	atelier hygge	弁護士
	河本泰政	こうもと法律事務所	代表
	田口順一	グラスルーツ行政書士事務所	専務理事
	戸松俊介	(一社)マチノワ	代表
	原昌広	(特非)ステップ	理事長
岡山南支部			
支部長	黒田英利	(有)ヒカリシルク	代表取締役
副支部長	岡崎有功	(有)カートップ	取締役副社長
	頼定弥生	(特非)輝くママ支援ネットワークぱらママ	代表理事
	青景遵之	(医)ふたば会	理事
支部役員	梅田光悦	(株)クリエイト岡山	代表取締役
	笠原圭子	(株)タイペックス	代表取締役
	鈴木祥成	(株)鈴木屋	代表取締役
	玉置順一	OFFICE TAMAKI	代表
	塚田幸子	Koete（同）	代表社員
	角田裕美子	アサヒ通信システム(株)	代表取締役
	山下秀男	(株)イケル	代表取締役
	山本達己	(一社)シネマフィルム	代表理事
	横田摂矢	(株)ピアノファクトリー	代表取締役
	吉田裕幸	Torus不動産（同）	代表
倉敷支部			
支部長	平井啓之	(株)日の丸タクシー	代表取締役社長
副支部長	影山貴敏	影山貴敏社労士事務所	代表
	藤井幸代	(有)藤井鉄工所	代表取締役
	吉原由美	ままん楽楽	代表
支部役員	面田高章	マイクロシステム(株)	代表
	川口将志	S.O.Fカワグチ	代表
	佐藤悠馬	サトウオートサービス	代表
	中村亜依	(同)koto architecture lab	代表
	藤原輝昌	あいコン実行委員会	代表
	松浦浩市	(有)サンテル	代表取締役
	守安儀浩	(株)松浦治療	代表取締役社長
	和佐田歩	(同)守安建設	代表
		(同)ヘアーウォーク	代表
作州支部			
支部長	里見允二	サトミ紙工(株)	取締役専務
支部役員	矢内里奈	(有)鏡野自動車工業	取締役
	米戸雅之	KitoBio	代表
備北支部			
支部長	柳分良司	(有)やなわけ染色	代表取締役
副支部長	上田浩一	(有)上田建築工房	代表取締役
	田中康信	田中実業(株)	代表取締役
支部役員	井上富男	(株)楓	代表取締役
	大西肇	(株)二鶴堂	代表
	道祖了一	道祖デザイン写真事務所	代表
東備支部			
支部長	仁戸田昌典	オーニット(株)	代表取締役
副支部長	木本康大	(株)ファーストディレクションTAKEKICHI	代表取締役
	松本章	(株)フジタ地質	代表取締役社長
	山口陵子	(株)ウイル	代表取締役
	川上修成	岡山流通(株)	代表取締役
	木村政浩	(株)ユニコ	代表取締役
支部役員	福崎守彦	(有)三愛	代表取締役
	宮尾保道	三石耐火煉瓦(株)	代表取締役

第1回理事会報告

2026年5月21日@岡山国際交流センター

浅野浩一理事が議長に就任し議案を審議した。

○26年度正副代表理事ならびに中同協幹事候補者の選出

代表理事に山辺啓三氏・門田悦子氏を選出。副代表理事に大西一夫氏・浅野浩一氏・松本直也氏を選出。いずれも異議なく承認された。あわせて代表理事2人と松本副代表、梶谷俊介氏を26年度中同協幹事候補として中同協に推薦することを承認。また法人化プロジェクトのリーダーに松本直也氏を選任した。

○入退会の審議

1人の入会および2人の組織変更等を提案し、異議なく承認となった。

○全研実行委員長より報告

浅野浩一実行委員長より、年内に4回程度のグループ長学習会を実施する旨を報告。

第2回理事会報告

2026年6月23日@オンライン

松本直也副代表理事が議長に就任し、議案を審議した。

○新任理事より自己紹介と抱負

新任理事の藤井幸代氏と柳分良司氏より、自己紹介と就任に際しての抱負が述べられた。

○26年度の委員長・部長の選任

26年度の各委員会・部会の委員長・部長について審議した結果、原案通り選任することを承認した。

○取得する法人格と法人化プロジェクトチームのメンバー編成

門田悦子代表理事より提案。岡山同友会の組織運営の実態に最も近く、活動内容や意思決定を柔軟に設計できる法人格として「一般社団法人」の取得を目指すことを異議なく承認した。また法人化プロジェクトチームは、法律・税務・公益法人運営・組織ガバナンス等に関する専門性や一貫性を確保するため、「弁護士・税理士・司法書士等の専門家」「公益法人の経営ないし管理経験者」「今年度の支部長」「事務局長および議事録を作成する事務局員」「代表理事および副代表理事」で構成する旨を承認した。尚、具体的なメンバーの選出は同チームリーダーの松本直也氏に一任することとし、複数名の副リーダーを置くことを承認した。

○経営者フォーラム（10月）について

正副代表理事会より提案。来年2月の全研に向けた会内の機運醸成のため、全研実行委員会による「今日は一日グループ討論三昧（兼・第3回グループ長学習会）」とすることを承認した。詳細は7月の全研実行委員会で協議・確定し、次回理事会で報告する。

○入退会の審議ほか

仲間づくり委員会より4人の入会と1人の支部変更等を提案し、異議なく承認された。また木本康大委員長より、経営環境の悪化を理由とする退会を防ぐためにも、支部での細やかなフォローが必要であるとの指摘があった。

○他支部への紹介実績数の扱いについて

正副代表理事会より提案。総会で承認された支部会員数目標に加えて、他支部に対する紹介実績数（入会につながった数）も数値目標化するか否かについて協議を行なった。　モチベーション向上に繋がるとの賛成意見が出た一方で、支部会員数目標の希薄化を懸念する声や、紹介者の定義と運用ルールの曖昧さを指摘する意見もあったため結論には至らず、次回理事会にて再度審議することになった。

○2027新春経営講演会に関するヒアリング

来年の新春経営講演会の日程が全研の開催時期と近接していることから、開催の是非や形態等に関する理事の意見を聴取した。予算上の利益確保の必要性、対外的な関係の維持、オブザーバーの参加機会確保などの観点から、開催の見送りはしないことで意見がまとまった。具体的な内容（開催形態や懇親会の有無など）については正副代表理事会で検討の上、次回理事会で審議を行うこととした。

○その他確認・報告事項

◆活動報告および月次試算表を回覧◆仲間づくり委員会より、各支部から委員の選出、オブザーバーに接する際の話法の統一および例会時のオブザーバー対応の規格化（1対1の担当制導入）が要請された◆山辺啓三代表理事より中同協幹事会報告。中東情勢の影響調査の集計結果、兵庫同友会の「どんな情勢でも伸びていける企業づくり・同友会づくり」の事例等が共有された◆全研の準備状況について浅野浩一実行委員長より報告。基本構想および集会の表題（テーマ）、分科会編成、全体スケジュールなど。また6月25日の第1回グループ長学習会への積極的な参加を要請した◆正副代表理事会より同友会研修会（兼・26年度役員研修会）の予定を報告◆正副代表理事会より対外的な情報発信を強化するための公式Facebookページを遅くとも7月中に公開予定である旨を報告◆26年度の正副代表理事の担当支部を報告（岡山北：松本氏、岡山南：門田氏・山辺氏、倉敷：大西氏・浅野氏、作州：門田氏、東備：浅野氏）◆青年部より中国ブロック交流会（27年1月@山口）の開催概要と報告者予選エントリーについて報告◆岡山南支部長より、総会議案に関する質問への回答に対して支部会員から再質問状の提出があった旨を報告◆会員の県外報告予定を報告。

現在の会員数 **531名**（2026年6月理事会承認分）

新会員紹介

岡山北支部

（株）ARMS design（あーむすでざいん）
代表取締役　原（はら）　滋甫（しげとし）

〒703-8267
岡山市中区山崎134-1
TEL086-207-2124
作庭に関するプランニング、造園事業

作州支部

（株）すえ木工（もっこう）
代表取締役　須江（すえ）　健治（けんじ）

〒708-0861
津山市八出244-1
TEL0868-23-4481
家具事業（イージーオーダーやカスタマイズが可能な家具などの企画・製造・販売）、RIM事業（特殊な熱硬化性プラスチックを用いた大型樹脂成形品の製造）

東備支部

（協組）日越交流センター（にちえつこうりゅう）
代表理事　平ノ内（ひらのうち）　佐歩（さほ）

〒701-4214
瀬戸内市邑久町本庄2090-4
TEL0869-24-7345
外国人労働者の職業紹介および監理支援受入事業等

東備支部

Yamato Works（株）（やまとわーくす）
代表取締役　平野（ひらの）　利也（としや）

〒705-0022
備前市東片上487-1-102　TEL080-2234-2528
月額Webマーケティング支援、Webサイト制作、SEO・コンテンツ支援、広告運用、SNS運用支援
写真・動画・DTP制作　地域プロジェクト支援

会員情報の変更

（2026年6月末時点）

■永井建設㈱永井郁美氏の所属支部を東備支部へ変更
■（一社）岡山障害者地域生活支援センターの所在地を〒719-1136 総社市駅前 1-4-101 へ変更（TEL・FAX に変更はありません）。
■㈱笠原組 鈴木憲行氏の役職を取締役へ変更
■せのお病院の社名を㈱ SENOOVET（セノオベット）へ変更

26年度方針に掲げた数値目標

■各支部例会参加率

（所属支部の例会に参加した支部会員数/支部会員数）
※支部会員数は5月理事会承認の値

岡山北支部	16.0%	(27/169)
岡山南支部	21.6%	(30/139)
倉敷支部	23.8%	(30/126)
作州支部	47.4%	(9/19)
備北支部	20.0%	(10/50)
東備支部	42.9%	(15/35)

■e.doyuアクセス率（月平均値）

岡山北支部	37.7%
岡山南支部	38.7%
倉敷支部	47.1%
作州支部	54.4%
備北支部	37.3%
東備支部	63.0%
全体	**42.4%**

■企業変革支援プログラム登録者

（2026年6月末日の登録）

岡山北支部	1.2%	(2/162)
岡山南支部	2.2%	(3/138)
倉敷支部	0.8%	(1/124)
作州支部	10.5%	(2/19)
備北支部	2.0%	(1/50)
東備支部	0.0%	(0/38)

全体9社

■経営指針書の事務局提出数

（2026年6月末日の提出）

岡山北支部	0.6%	(1/162)
岡山南支部	1.4%	(2/138)
倉敷支部	4.0%	(5/124)
作州支部	0%	(0/19)
備北支部	0%	(0/50)
東備支部	0%	(0/38)

全体 8 社

■公開行事のオブザーバー参加人数

岡山北支部	4
岡山南支部	1
倉敷支部	0
作州支部	14
備北支部	0
東備支部	1
その他	19

全体 39 人

■岡山同友会の主要な学習プログラム受講社数

岡山北支部	4
岡山南支部	7
倉敷支部	4
作州支部	1
備北支部	2
東備支部	1

今年度合計 19 社

（25年度受講社数42社）



㈱ズームコーポレーション

事業後継者 小野 隼 氏

2025 年入会 / 倉敷支部

【所在地】〒710-0007　倉敷市浅原65-9(倉敷制作部)
【TEL】086-430-5430
【WEB】https://zoom1931.jp/
【事業内容】ホームページの企画・制作・管理運営、高品位商業写真撮影、グラフィックデザイン、会社・商品等のブランディングなど



HP

第45回

魅力発信! NewFace☆

この連載では、よい会社・よい経営者をめざして学び始めた新会員にスポットライトを当て、同友会でどんなことを学び、どんな企業をめざすかを語っていただき、日々奮闘している会員企業を紹介します。

活版印刷から「伝えるをデザインする」総合ブランディング企業へ

藤井＝まずは、御社の歴史と現在の事業内容について教えてください。

小野＝弊社の創業は1931年に遡ります。初代である曽祖父が岡山市田町で「美工社印刷」として活版印刷所を立ち上げました。戦災を乗り越え、2代目がオフセット印刷へ転換し、そして現在の社長である3代目が、1996年頃のデジタル化の波を捉えて事業を大きく変革させました。現在は、WEBデザイン、グラフィックデザイン、そして商業写真を掛け合わせ、企業やお店の「他と違う」価値を創り出すブランディングを総合的に支援しています。

職人気質のモノづくりと、ネコがいる癒しの職場

山下＝現在の体制や、職場環境についてはいかがですか？

小野＝約10年前に、県外のお客様へのアクセスを考慮してインターチェンジに近い現在の場所へ事務所を移転しました。元々個人住宅だった落ち着いた和風の建物で、現社長、私、母、そしてベテラン社員の4人体制でアットホームに運営しています。また、弊社の大きな特徴の一つが「猫がいる会社」ということです。移転前の事務所で現社長が保護したのをきっかけに、現在は2匹の保護猫がいます。社員全員が猫好きなので、仕事の合間に猫と触れ合う時間が私たちにとって最高の癒しになっています。週に数日はスタッフ全員で一緒に食事をするなど、コミュニケーションも大切にしています。

事業承継に向けた壁と、経営者としての覚悟

藤井＝近々事業承継を控えていらっしゃると伺いました。現在の課題は何でしょうか？

小野＝これまで私はWEB制作などの現場作業ばかりに集中してきたため、経営者としての心構えや視座がまだまだ不足していると痛感しています。自社の売上構成比など全体のお金の流れを把握する「数字と向き合う力」をつけること、そして現場の実務と並行して、新規のお客様との関係構築など営業活動に時間を作ることが直近の大きな課題です。また、現社長が担ってきた高品質な商業写真が果たしてきた役割を、今後どう継承していくかという中長期的な課題にも向き合っているところです。

同友会での学びと経営者視点の育成

山下＝同友会に入会された経緯や、学んでいることを教えてください。

小野＝日頃からお世話になっているお客様の社長から「経営者の目線を覚えた方がいい」と強く勧められ、昨年入会しました。本や座学では得られない、先輩経営者の方々の実体験に基づく経営判断や事業承継の経験談は、まさに今の私にとって最も必要な学びです。また、同友会を通じて様々な方と顔の見える関係性ができ、相談し合える繋がりができたことも非常にありがたいと感じています。

「前向き企業をおしゃれで面白くする」思いを未来へ

藤井＝最後に、小野さんが描く今後の展望を教えてください。

小野＝現社長が掲げた「伝えるをデザインする」「前向き企業をおしゃれで面白くする」という企業理念と思いは、しっかりと引き継いでいきたいと強く思っています。時代が変われば、紙からWEB、そして新たなデジタルツールへと伝える手段は変わっていきます。しかし、お客様の強みを引き出し、価値を高めるという私たちの本質は変わりません。これからも手段にとらわれず、「前向きに変わりたい」と願うお客様に寄り添い、共に課題を解決していくパートナーとして、地域に貢献し続ける企業を目指していきます。

聞き手　NPOエリア・イノベーション　藤井 智晴、㈱イケル　山下 秀男／ 執筆　NPOエリア・イノベーション　藤井 智晴

広報委員会

発行人／山辺 啓三・門田 悦子
編集人／藤井 智晴

〒700-0936　岡山市北区富田29
☎(086)222-7473　FAX(086)225-3662

E-mail：info@okayama.doyu.jp
https://okayama.doyu.jp

© 1988-2026 岡山県中小企業家同友会

各種ご案内

岡山県中小企業家同友会 会員の皆様へ

そのお悩み 私たちが 解決します!

お見積り 無料

お悩みに合わせた 最適な解決策(ソリューション)を ご提案します!



もっとこだわって印刷したい 印刷

クオリティが高いものを 印刷したいなぁ…。



名刺やチラシが必要な場合はサンコー印刷にお任せください。もちろん高品質・小ロットにも対応可能です。貴社のご要望にお応えして、ビジネスチャンスを逃しません。

もっと魅力を伝えたい 動画

チラシ以上の魅力を 伝えたいなぁ…。



チラシだけでは伝え切れなかった魅力を、高い技術と豊富な経験を活かし、弊社のデザイナーが「伝える」「伝わる」動画を制作します。TVCMの実績もございます。

もっと営業力を増やしたい ホームページ

いつでも当社のサービスや商品のことを 知ってもらいたいなぁ…。



営業する時間がなくてお困りの際は、24時間宣伝・対応可能な頼れる営業マン、ホームページをご提案いたします。貴社の強みを引き出したホームページ制作をお手伝いいたします。

効果的な販促がわからない 相談

どんな印刷物を作れば、 お客様に反応があるかわからない…。



サンコー印刷は複数名デザイナーが在籍しており、打ち合わせの段階からの同伴が可能です。貴社が本当に伝えたいことを適切なツールで、より効果の出る宣伝方法をご提案いたします。



サンコー印刷で解決できるコトがあります。



One-Stop service



ヒヤリング → デザイン作成 → 打ち合わせ → 最終調整 → 印刷 → 製本 → 完成

弊社では、企画、デザイン、印刷から製本まで一貫して自社内で行います。統一されたデザインでお客様のご要望に沿った適切なコンテンツをご提案いたします。

サンコー印刷株式会社
Aiming for the future together with
〒719-1137 岡山県総社市駅南一丁目1番地5

TEL 0866-93-2121
FAX：0866-93-9601 E-mail：eigyo@sankopr.co.jp

まずはお気軽にお電話ください!

お電話受付時間
8:30~17:00(土日祝除く)

サンコー印刷HP
お問い合わせ▼

印刷だけじゃない 動画制作も！

写真・動画撮影編集

ONE-STOP SERVICE

多種多様なコンテンツでお客様のご要望にお応えします。

弊社では、企画、デザイン、印刷から製本まで一貫して自社内で行います。
統一されたデザインでお客様のご要望に沿った適切なコンテンツをご提案いたします。

総社商工会議所 様　総汰と社那の企業探検ツアー 株式会社共立精機編





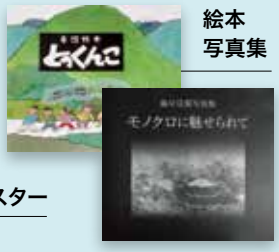
▲▲▲ YouTube 配信中

ぜひご覧ください！

＋MORE



ポスター



絵本 写真集


クリアファイル



マンガ冊子


のぼりタペストリー


ホームページ



缶バッジ



パッケージ



マグネットシート

ロゴ・マーク制作



看板・パネル


グッズ・ノベルティ

制作実績 公開しています！

サンコー印刷株式会社
Aiming for the future together with
〒719-1137 岡山県総社市駅南一丁目1番地5

TEL 0866-93-2121
FAX：0866-93-9601 E-mail：eigyo@sankopr.co.jp

まずはお気軽にお電話ください！

お電話受付時間
8:30～17:00(土日祝除く)

サンコー印刷HP お問い合わせ▼